

第1章

はじめての「鉄道模型シミュレーター NX」

まずは簡単に「鉄道模型シミュレーター NX」(VRM-NX)の世界を体験してみましょう。無料でダウンロードして遊べる「スターターキット」をインストールします。

※「製品版」には「スターターキット」が含まれています。



後期型 キハ58/28

1-1

「スターターキット」の導入

「鉄道模型シミュレーター NX」には、機能を制限したお試し版(スターターキット)があります。

まずは、無料で使える「スターターキット」をインストールします。

すでに「製品版」をインストールしている方は、本節は読み飛ばしてください。

■ 公式サイトにアクセス

アイマジック(IMAGIC)の公式サイトにアクセスし、「無料ですぐに遊べるスターターキット」の画像リンクをクリック。

[IMAGICの公式サイト]

<http://www.imagic.co.jp/>



図1-1-1 IMAGICの公式サイト

■ 「スターターキット」のインストール

[手順] インストール

[1]「無料ですぐに遊べるスターターキット >>Downloadはここをクリック」の「画像リンク」をクリックして、「インストーラ」をダウンロードします。

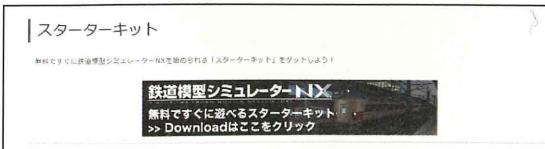


図1-1-2 「インストーラ」をダウンロード

[2]ダウンロードが完了したら、「解凍」をクリック。

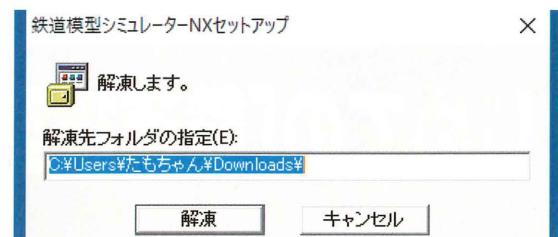


図1-1-3 「解凍する」

[3]「NXスターターキット」の起動で、「セットアップ」をクリック。



図1-1-4 「セットアップ」をクリック

[4]「セキュリティ・ソフトの停止」を促すメッセージが出ますが、そのままでも「OK」をクリックできます。

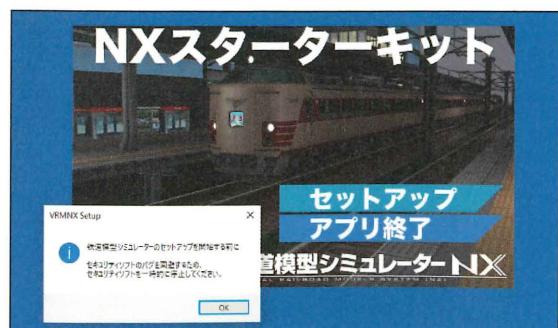


図1-1-5 セキュリティ・ソフトに関するメッセージ

[5] 「セットアップ・ウィザード」が起動するので、「次へ」をクリック。

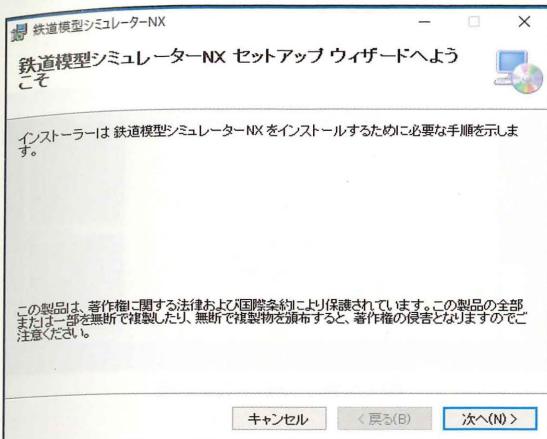


図1-1-6 「次へ」をクリック

[6] 「ライセンス条項」が表示されるので、目を通したら「同意する」にチェックを入れ、「次へ」をクリック。

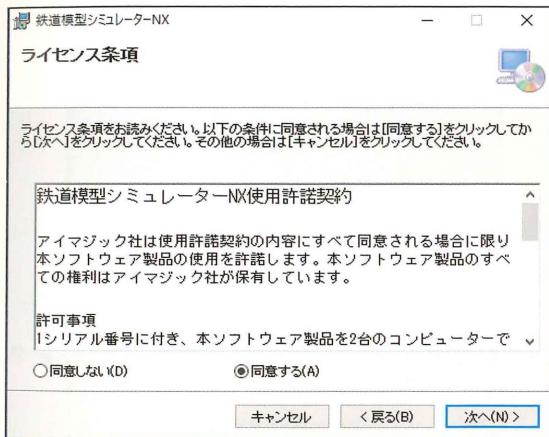


図1-1-7 「同意する」にチェックを入れて、「次へ」をクリック

[7] インストール先が表示され、変更することもできます。問題なれば、「次へ」をクリック。

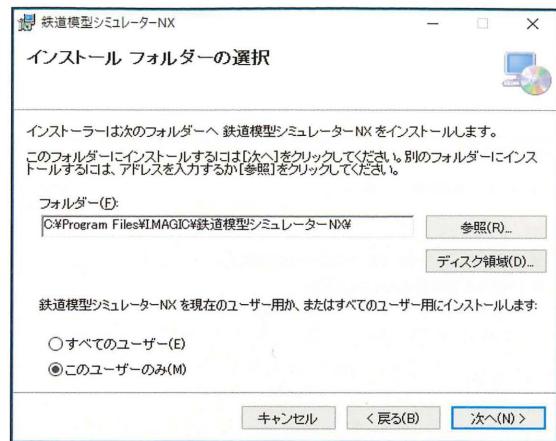


図1-1-8 インストール先を確認して「次へ」をクリック

[8] インストールの準備ができたら、「次へ」をクリック。

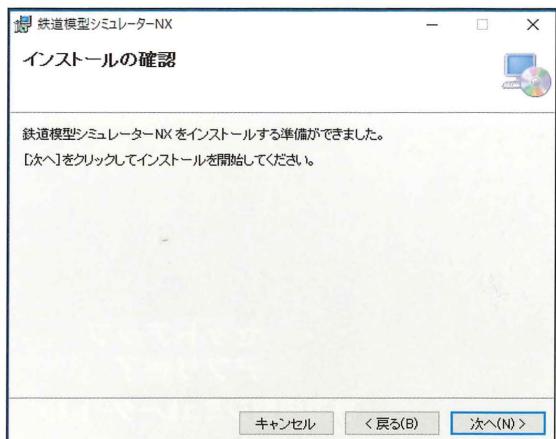


図1-1-9 「次へ」をクリック

インストールには少し時間がかかります。

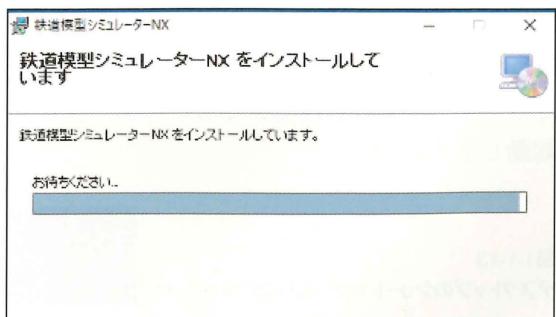


図1-1-10 インストール中

[9] インストールが完了したら、「閉じる」をクリック。

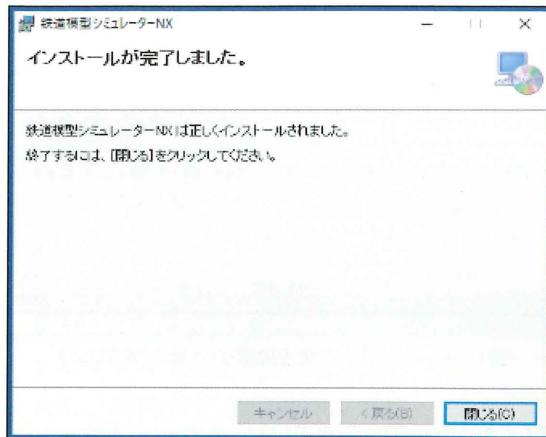


図1-1-11 「閉じる」をクリック

[10] 画面の「アプリ終了」をクリックして、セットアップを終了します。



図1-1-12 「アプリ終了」をクリック

デスクトップ上に、ショートカット・アイコンが出来ました。

次回からは、ショートカット・アイコンをクリックすれば、「鉄道模型シミュレーター NX」が起動します。

図1-1-13
デスクトップのショートカット・アイコンをクリック



[手順] 更新ファイルがある場合

[1] 「鉄道模型シミュレーター NX」のプログラムに、最新の「更新ファイル」がある場合は、アップデートするので「はい」をクリック。



図1-1-14 「はい」をクリック

[2] 初回のインストール同様、手順に沿って進めていきます。「次へ」をクリック。

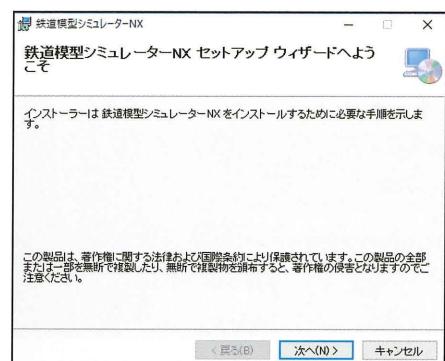


図1-1-15 「次へ」をクリック

[3] 「同意する」にチェックを入れて、「次へ」をクリック。



図1-1-16 「同意する」にチェックを入れ、「次へ」をクリック

[4] インストール先フォルダを指定して、「次へ」をクリック。

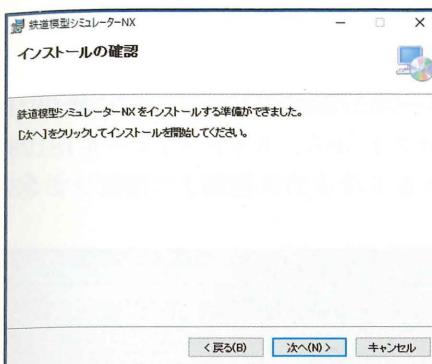


図1-1-17 「次へ」をクリック

[5] 「次へ」をクリック。

[4] 「閉じる」をクリック。

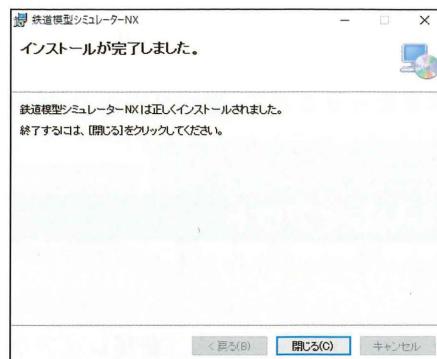


図1-1-20 「閉じる」をクリック

[5] 「鉄道模型シミュレーター NX スターターキット」が起動しました。

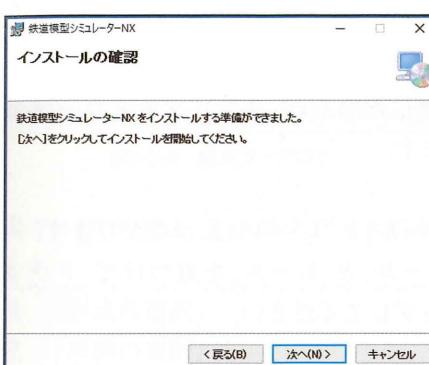


図1-1-18 「次へ」をクリック

インストールには時間がかかります。

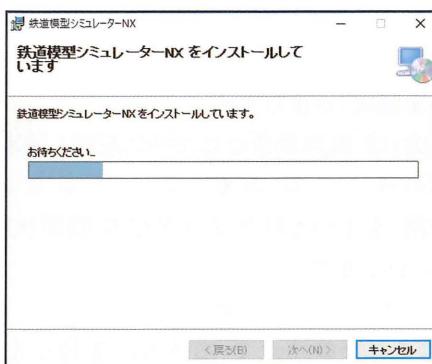


図1-1-19 インストール開始

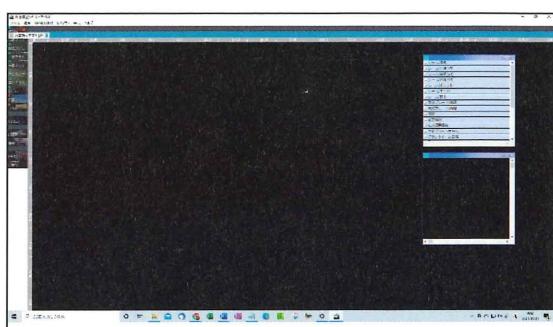


図1-1-21 初期画面が表示された

1-2

はじめてのレイアウト

「鉄道模型シミュレーター NX」は、線路を引いて列車を走らせるまで、簡単な操作で「鉄道模型の世界」を楽しむことができます。

■新しいレイアウト

新しいレイアウトを作ります。

*

ファイル・メニューから、「新規レイアウト作成」を選びます。



図1-2-1 「ファイル」→「新規レイアウト作成」を選ぶ

新しいレイアウトが作られます。



図1-2-2 新しいレイアウトを表示

■レールを並べる

次は、レールを並べます。

*

「パーツ・パレット」には、使える部品が並んでいます。

左の三角形をクリックすると、開いたり、閉じ

たりできます。

「パーツ・パレット」の「レール/直線」の「IMAGIC ICバラスト」から、「ストレートレールIS128」をドラッグ & ドロップで、図面上に配置してください。

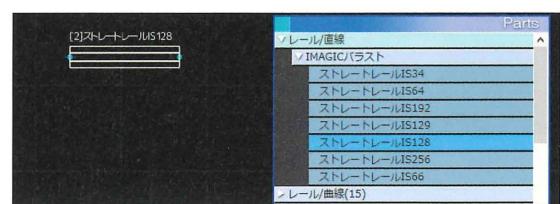


図1-2-3 「パーツ・パレット」から「直線レール」を選ぶ

ある程度、長くしたいので4本ぐらい並べてみます。

配置した部品は、ドラッグ & ドロップで移動できます。

「レール」と「レール」は、つながります。

「レール」と「レール」を近づけて、ドラッグ & ドロップしてください。



図1-2-4 「レール」と「レール」はつながる

■編成を作る

「列車編成」を作ります。

「編成」は、線路に重なるように配置します。

*

「線路」を1つだけクリックして、選択状態(白く表示)にします。

*

選択された線路上で、右ボタンを押したままでメニューを表示して、メニューのいちばん下の「編成配置」を選びます。

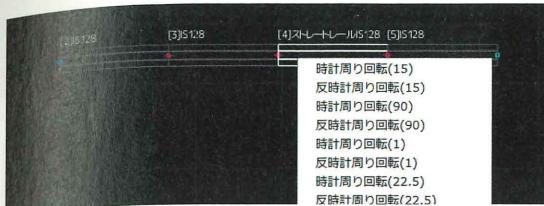


図1-2-5 右メニューから「編成配置」を選ぶ



図1-2-7 下段に車両が追加されていく

[4]編成から不要な車両を取り除く場合は、「下段に配置されている車両」を、「中段」にドラッグ & ドロップします。

[5]「OK」ボタンで編成の作成が完了します。

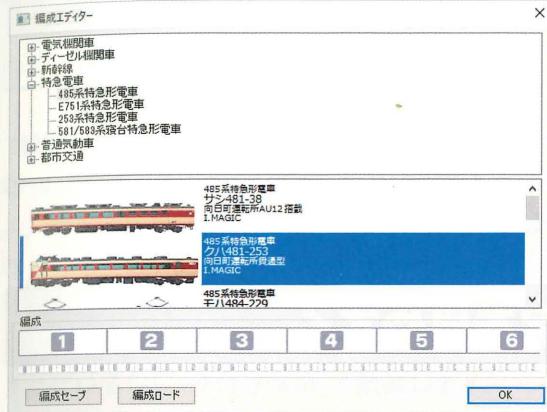


図1-2-6 編成ダイアログ

編成ダイアログは、3つのブロックに分かれています。

- ①上段 「形式の選択」
- ②中段 「車両の選択」
- ③下段 「編成の構成」

[手順] 編成を配置する

[1]上段で「形式」を選びます。

[2]中段で「配置したい車両」を選びます。

[3]「配置したい車両」を、下段にドラッグ & ドロップすると、「任意の位置」または「最後尾」に、「車両」が追加されます。

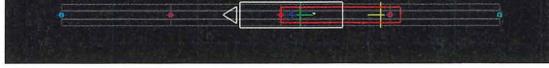


図1-2-8 編成が作成できた

■運転しよう

配置した編成を運転してみましょう。

[手順] 車両を運転する

[1]「ツール・ボックス」の「運転」ボタンで、運転を開始します。

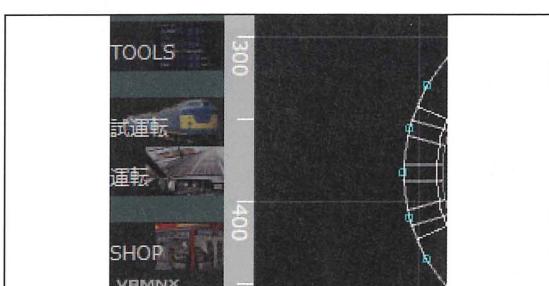


図1-2-9 「運転」ボタンを押す

[2]「ビュワー」に画面が切り替わります。

[3]「運転操作」は、「カーソル」キーの上下(↑↓)で、「速度」がアップダウンします。

「カーソル」キーの左右(←→)は、「視点」の切り替えで、いくつかの視点が、順番に切り替わります。

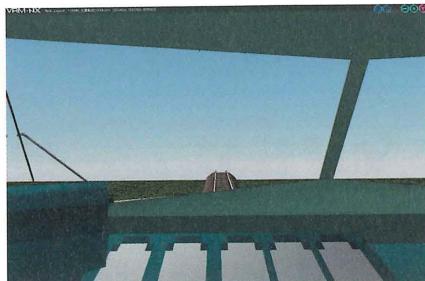


図1-2-10 運転席が表示される

[4]「ビュワーの終了」は、右上の「赤いボタン」を押します。

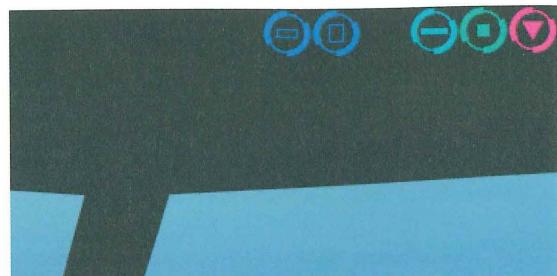


図1-2-11 赤いボタンを押して「ビュワー」を終了

「シミュレーターの終了」は、メニューから「終了」または、ウインドウの「クローズ」ボタンしてください。

1-3

画面の文字を見やすく

ディスプレイに合わせて、読みやすい大きさの文字に変更できます。

■ビューを開く

「レイアウト」→「ビュー」と開いて、GUI フォントのボタンを押してください。

4つのボタンそれぞれに、フォントが設定されています。

初期状態は、「プロポーショナル」です。

文字ごとに幅が異なります。

「等幅」は、「文字幅」が一定です。

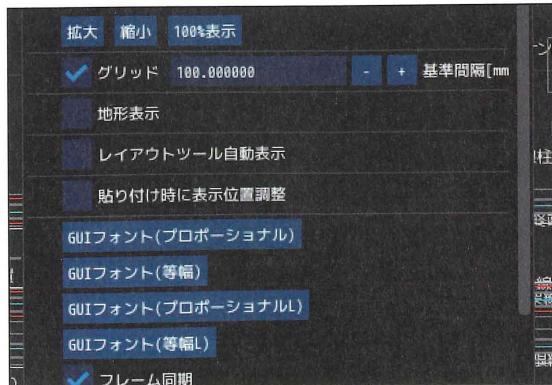


図1-3-1 [▼レイアウト]→[ビュー]

*

「プロポーショナル」または「等幅」を選ぶと、「大きな文字」で表示します。

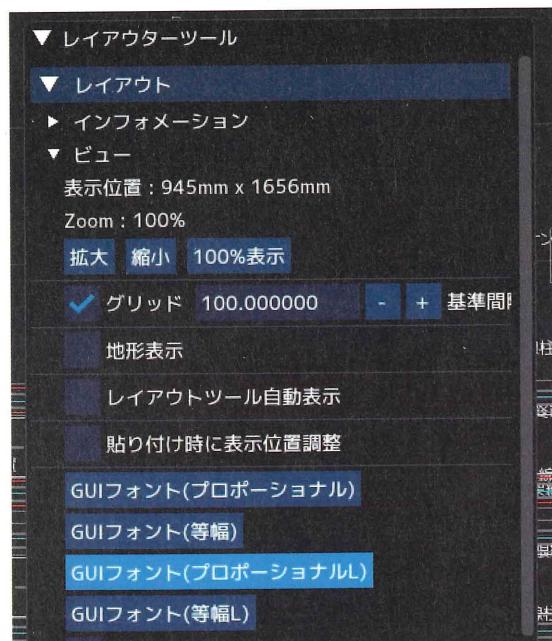


図1-3-2 文字が拡大された

1-4

鉄道模型

「鉄道模型」は、鉄道をメインテーマとする模型です。

「規格化された線路」に、精密に再現された「模型車両」を走行させることができます。

■車両

車両は、線路の規格に合わせて精密に再現されています。

最もメジャーな「Nゲージ」の場合は、「9ミリ幅」の線路に合わせて、新幹線は「1/160スケール」、国鉄/JR在来線は「1/150スケール」で構成されています。

線路に流れる「直流電流」で、「編成」に組み込まれている「モータ付き車両」を制御します。

一般的な鉄道模型では、最大「12V」の電圧で、「モータの回転数を制御」して、「速度をコントロール」します。

「車両」は、「配備エリア」「時代」「製造時期」などによって、細部が異なります。

鉄道模型には、細部の違いを資料から探って再現するという、楽しみ方もあります。

表1-1 車両の種類

蒸気機関車	水蒸気でシリンダを動作させて進む機関車。最も有名な「D51」、旅客最大の「C62」などがある。
電気機関車	電気でモータを回転させる機関車。「EH10」を境に「旧型電気機関車」と「新性能電気機関車」に分かれる。
ディーゼル機関車	ディーゼル・エンジンで駆動する機関車。幹線用「DD51」などがある。
電車	現在の国内鉄道の大部分を構成するモータ駆動の車両。モータを編成の各車両に配置する、「分散モータ式」が特徴。
気動車	ディーゼル・エンジンで駆動する旅客車両。非電化区間で活躍。
客車	電車が普及するまでの旅客輸送の主力だった。
貨車	輸送目的ごとに、さまざまな貨車がある。近年は、コンテナ化され、コンテナ車が主流。

■線路

「鉄道模型」は、走行させることが主目的の模型です。

「実際の鉄道」では、「標準軌」「狭軌」など複数の「軌間」があります。

鉄道模型では、「軌間」を固定＆規格化して、車両側のスケールを調整して、模型化しています。

＊

現在の鉄道模型の一般的な線路は、プラスチック製の「固形道床」に「線路」が固定されています。

「直線線路」の「長さ」、「曲線線路」の「半径」は、メーカーごとに「規格化」されています。

「規格化された線路」を組み合わせることで、「列車を走行させる路線」を、簡単に組み立てることができます。

「森林鉄道」など、特別に狭い軌間の線路を使用している場合は、「9mm」ゲージの上に「大スケール」の車両を載せることができます。

一般的に「ナロー」と呼ばれています。

「鉄道模型シミュレーター」では、「1/150」スケールの「森林鉄道専用レール」を用意しています。

■「鉄道模型」を「仮想空間」に再現

「鉄道模型シミュレーター」は、鉄道模型の世界を、「仮想空間」に再現しています。

＊

多種多様な「線路」、「建物」を組み合わせて、「路線」を作成したり、さまざまな「車両」で「編成」を構成して、「走行させる」ことができます。

＊

広大な「仮想空間」では、現実の鉄道模型では物理的に構成できないほどの、大規模なレイアウトを作ることも可能です。

